



百歳おめでとう

市は、12月と1月に満百歳を迎えた9人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

佐々木シンさん 胆沢区南都田字加賀谷地 金ヶ崎町に生まれ、20歳を前に胆沢区若柳の故・専太郎さんと結婚。1男2女をもうけ、現在は孫5人、ひ孫7人に恵まれていきます。夫を早くに亡くしてか



大勢の人に祝福され、穏やかにほほ笑むシンさん

吉田きせさん 胆沢区小山字北大畑平 宮城県登米郡に生まれ、20歳ころに故・菊之進さんと結婚。娘1人をもうけ、現在は孫2人、ひ孫1人に恵まれています。海軍の軍人だった夫と神奈川県横須賀市で生活していましたが、戦後は大畑平地区に入植し、農業で生計を立てました。



記念品を受け取り、にっこり笑顔のきせさん



高橋喜代志水沢総合支所長から記念品を受け取る一男さん

小山チヨさん 水沢区上姉体二丁目 江刺区米里に生まれ、18歳で故・八郎さんと結婚し水沢区大町に転居。3男1女をもうけ、現在は孫7人、ひ孫6人に恵まれています。若いころから独学で学んだ編み物は、女学校の講師を務めるほどの腕前で、97歳まで毎日手を動かしていたそうです。百歳のお祝いには、自作のカードイガンを着て参加しました。



子どもたちから贈られたケーキを前にVサインを見せるチヨさん

を遣ってくれる立派な母。これからも長生きしてほしい」と長寿を祝いました。

山下ヤス子さん 前沢区古城字馬口沢 大阪市に生まれ、25歳で故・正三さんと結婚。娘1人をもうけ、現在は孫3人、ひ孫4人に恵まれています。大阪で車の部品製造会社を経営していた正三さんと前沢区古城に移り住んだ後、85歳まで経営した衣料品販売では、大阪、岐阜、京都への買い付けを30年近く続けました。今でも化粧水などでの肌の手入れを欠かさず、若々しい肌のヤス子さん。百歳の感想の問いに「別にないです」と答えるなど、マイペースで細



100歳のお祝いに家族や親類に囲まれるヤス子さん

かいことを気にしない性格が、長寿の秘訣のようでした。

梅原義郎さん 江刺区田原字松川下 同区田原に生まれ、25歳で故・八永さんと結婚。3男2女をもうけ、現在は孫7人、ひ孫4人に恵まれています。東京で鉄道弘済会に就職し、駅売店の商品の仕入れや配送を担当。終戦後は江刺に帰郷し、衣類の行商を経て、兄と共に正月のしめ飾り卸売りに従事し、96歳ころまで盛岡から仙台までの間を駆け巡っていました。



橋本正栄江刺総合支所長から記念品を受け取る義郎さん

佐藤ミエさん 前沢区生母字南羽毛 遠野市に生まれ、昭和37年に故・正人さんと結婚。4男1女をもうけ、現在は孫6人、ひ孫4人に恵まれています。戦後、正人さんの実家のある生母に移り住み、「佐藤呉服店」を夫婦で経営する傍ら、裁縫作業所での勤務や編み物、縫い物の内職で生計を立てました。長女のノブ子さん（66）が装飾品をお土産に会いに来ることをとても楽しみにしているミエさん。百歳を迎えたこの日お土産の指輪などを身



自作の文化刺しゅうを横に談笑するミエさん

に着け、たくさんの思い出話を場を和ませていました。

菊池キヨミさん 江刺区玉里字白山通 同区米里に生まれ、20歳で故・一二さんと結婚。1男1女をもうけ、現在は孫4人、ひ孫2人に恵まれています。家事と育児で家庭を支えながら農業に精を出し、米やリンゴを作りました。農業を長男に任せた後は老人クラブに加入し、80歳ころまで旅行などを楽しまました。現在は長男夫婦と3人暮らし。8年前に骨折してから車椅子での生活になりましたが、週2回のデイサービスを楽しみにしています。

長男の悦太郎さん（77）は「母に負けないよう、私たちも元気でいなければ」と笑顔で話しました。

近藤キクノさん 前沢区駅東一丁目 衣川区に生まれ、故・寅男さんと結婚。3男1女をもうけ、現在は孫3人、ひ孫3人に恵まれています。前沢区の三清商店で働く寅男さんを支え、共に田畑を耕したキクノさん。90歳を過ぎて



入所する施設職員からお祝いの花を受け取るキクノさん

も、施設に入所するまで、畑仕事に精を出しました。長男の妻ツギミさん（75）は「読書が好きで、テレビで流れる音楽に合わせて、即興で歌うことが上手だった」とキクノさんとの思い出を話してくれました。



実の姉が織ったという着物に身を包み、喜びの日を迎えたキヨミさん